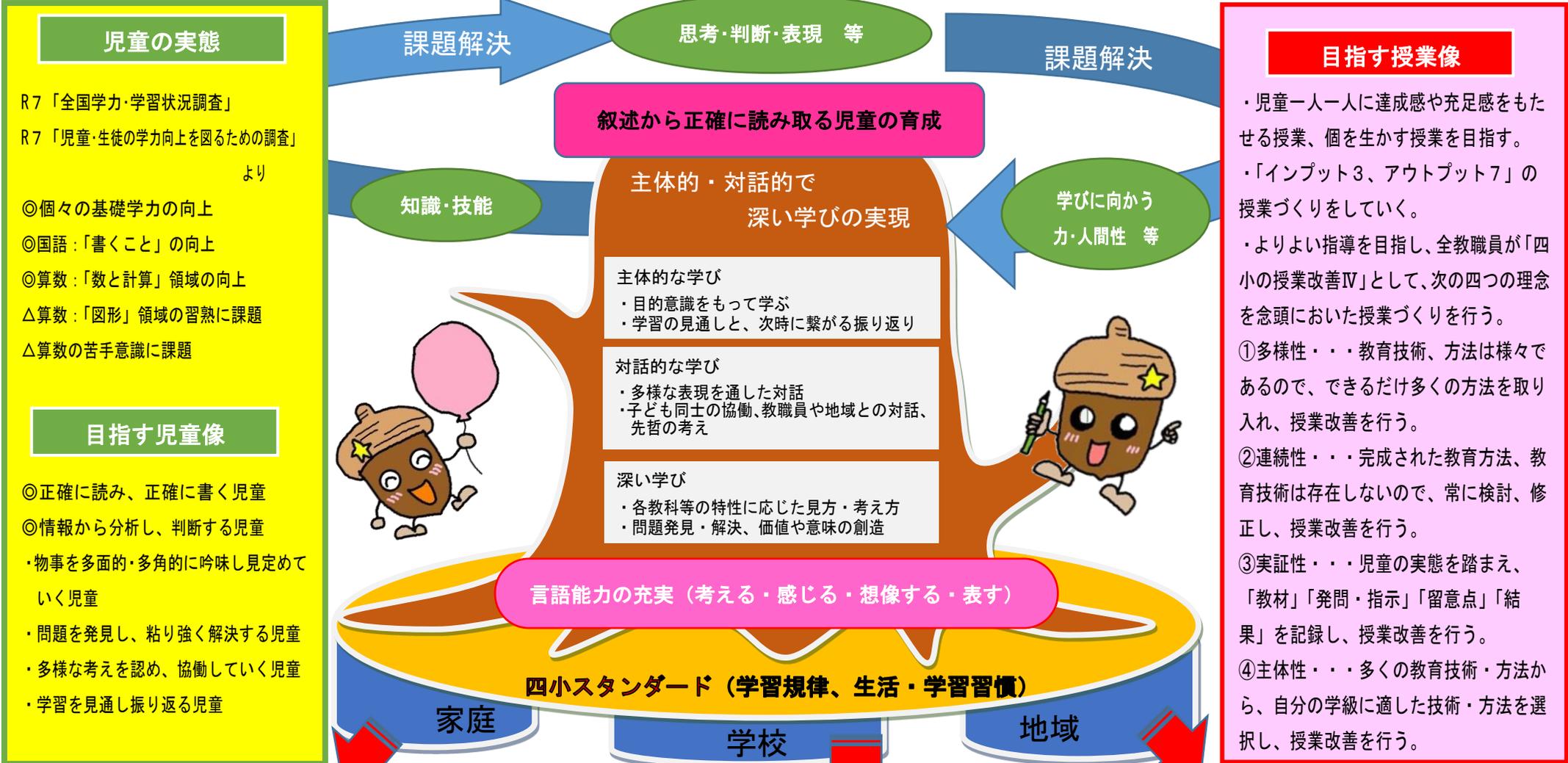


# 令和7年度 小平第四小学校 授業改善推進プラン全体計画



## 児童の実態

R7 「全国学力・学習状況調査」  
R7 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」

より

- ◎個々の基礎学力の向上
- ◎国語：「書くこと」の向上
- ◎算数：「数と計算」領域の向上
- △算数：「図形」領域の習熟に課題
- △算数の苦手意識に課題

## 目指す児童像

- ◎正確に読み、正確に書く児童
- ◎情報から分析し、判断する児童
- ・物事を多面的・多角的に吟味し見定めていく児童
- ・問題を発見し、粘り強く解決する児童
- ・多様な考えを認め、協働していく児童
- ・学習を見通し振り返る児童

## 目指す授業像

- ・児童一人一人に達成感や充足感をもたせる授業、個を生かす授業を目指す。
  - ・「インプット3、アウトプット7」の授業づくりをしていく。
  - ・よりよい指導を目指し、全教職員が「四小の授業改善Ⅳ」として、次の四つの理念を念頭においた授業づくりを行う。
- ①多様性・・・教育技術、方法は様々であるので、できるだけ多くの方法を取り入れ、授業改善を行う。
  - ②連続性・・・完成された教育方法、教育技術は存在しないので、常に検討、修正し、授業改善を行う。
  - ③実証性・・・児童の実態を踏まえ、「教材」「発問・指示」「留意点」「結果」を記録し、授業改善を行う。
  - ④主体性・・・多くの教育技術・方法から、自分の学級に適した技術・方法を選択し、授業改善を行う。

家庭	学校	地域
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習習慣の定着</li> <li>・四小スタンダードの家庭での定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点教育目標「考える子」→重点施策「学力向上」</li> <li>・校内研究テーマ「叙述から正確に読み取る児童の育成～授業UDの視点を生かして～」</li> <li>・校内研修→0JT 研修の充実 ・東京ベーシックドリル</li> <li>・校内研究と一体化した日常の授業実践 ・朝学習、放課後の補習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学習財を活用した授業（歴史、文化、人材）</li> <li>・放課後子ども教室（体験型授業・四小寺子屋）</li> <li>・津田塾大学との外国語学習連携</li> <li>・お仕事体験（2年、5年） ・青少対による体験活動</li> </ul>

